【京田辺市】
１人１台端末の利活用に係る計画

１　１人１台端末を始めとするＩＣＴ環境によって実現を目指す学びの姿

京田辺市では、令和５年度に「京田辺市教育大綱」を策定し、重点目標の一つとして「確かな学力の育成と個性や能力の伸長を図る多様な教育」を掲げています。また、「京田辺市教育振興基本計画」において「児童生徒一人一台タブレット端末環境での学習において、ＩＣＴ機器等を効果的に活用した授業を工夫し、個別最適な学びや創造的な学び、協働的な学びの実現に向けての取組みを進めます。」としています。

この目標の実現に向けて、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ＩＣＴを活用した新たな教材やアプリ等を、学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

（１）個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

児童生徒１人１台タブレット端末環境での学習において、ＩＣＴ機器等を効果的に活用した授業を工夫し、個別最適な学びや創造的な学び、協働的な学びの実現に向けての取組みを進めます。

（２）情報モラル及びデジタル・シティズンシップ教育の推進

教育活動全体を通じて１人１台タブレット端末の活用を進め、情報モラル及びデジタル・シティズンシップ教育を重視した情報活用能力の向上を図るとともに、情報教育の目的や内容と各教科等の学習内容との関連付けを明確にしたり、校種間の連携・接続することに配慮したりした、情報教育の指導計画の改善を進めます。

（３）教職員のＩＣＴ活用能力や指導力の向上

ＩＣＴ利活用や情報セキュリティ等を含めた情報モラル及びデジタル・シティズンシップ教育にかかわる教職員研修等の充実により、情報教育の指導力向上を図るとともに、情報社会の特性を理解し、ＩＣＴ機器等を安全に利用するための自己調整能力及び自律できるように取組みを推進します。また、学習活動の一層の充実を図るための視点から、授業改善に向けて主体的・対話的で深い学び及び、多様な子どもたちの資質・能力を育成するための個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、教職員の 活用能力や指導力を向上させるための教職員研修を積極的に進めます。

２　ＧＩＧＡ第１期の総括

（１）ＩＣＴワーキング委員会施策の実施内容

ア　１人１台端末の実現

京田辺市のすべての小中学校で、児童生徒に１人１台の学習用端末が配布され、ＩＣＴワーキング委員会を活用した学習環境が整いました。

授業においては、端末を活用した個別学習や協働学習が進み、特にデジタル教材の活用が広がりました。

イ ネットワークインフラの整備

各学校において高速・大容量のネットワーク環境が整備され、オンライン授業やデジタル教材の利用が円滑に行えるようになりました。

校内ネットワークの強化により、すべての教室でインターネット接続が可能となり、授業中のＩＣＴ活用が容易になりました。

ウ　教員のＩＣＴスキル向上

京田辺市では、教員向けにＩＣＴ活用研修を実施し、デジタル機器やオンラインツールの使用方法についてのスキルが向上しました。これにより、教員はＩＣＴを活用した授業設計ができるようになりました。

（２）課題

ア 教員の負担増加に対する改善

端末管理やトラブル対応など、教員に新たな業務が発生し、負担が増加しました。これに対するサポート体制が不十分であることが指摘されました。

イ コラボレーションツール等学校間の利用のばらつきの解消

ＩＣＴを活用したコラボレーションツールの利用について学校間等で差が見られました。

ウ 児童生徒のＩＣＴリテラシーのばらつきの解消

児童生徒間でのＩＣＴリテラシーに差があり、一部の児童生徒が端末を十分に活用できていないという課題が見られました。特に小学校低学年では、操作に不慣れな児童への支援が求められました。

３　今後の対応策と展望

（１）教員のサポート体制強化

教員の負担を軽減し、スムーズなＩＣＴ活用を支援するために、ＩＣＴ支援員によるトラブル対応や授業サポートを充実させます。また、教員向けに継続的な研修を行い、新しい技術や教材の利用方法についてスキルアップを図ります。

（２）コラボレーションツール利用推進

ＩＣＴを活用したコラボレーションツールを利用し、児童生徒間でのグループワークやプロジェクト学習を推進します。これにより、コミュニケーション能力や問題解決能力を養います。また、家庭学習等における AI ドリルの活用について検討していきます。

（３）児童生徒のＩＣＴリテラシー向上

学年ごとに適切なＩＣＴリテラシー教育を提供し、児童生徒が段階的にスキルを習得できるカリキュラムを整備します。情報の取捨選択や、ネット上でのマナーについての教育を強化するとともに、端末の利用に際して、セキュリティリスクに対する認識を高めるための指導を行います。パスワードの管理やフィッシング詐欺の防止など、具体的な対策を学びます。また、児童生徒への情報モラル教育も強化します。